

令和4年度 障がい者入所施設敬仁会館事業計画

1. 施設理念

「利用者の人権を尊重し、権利擁護に取り組みます」

2. 施設方針・テーマ（入所・在宅共通）

『ともに働き、ともに生きる施設づくり』

- ① 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ② 利用者が「生きがい」と「働きがい」を感じる支援サービスの提供
- ③ 施設機能の活用による地域貢献・社会貢献の実践
- ④ 働き甲斐のある職場作り

3. 実施事業

（1）障害者支援施設

* 施設入所支援	定員 65名
* 短期入所	定員 5名
* 生活介護	定員 80名

（2）特定相談支援事業所

* 障がい者サポートセンター 敬仁

4. 重点目標

- ・ 地域における障がい者入所施設として、中度の利用者を受け入れる体制を整備し、安心安全なサービスを提供する。
- ・ 高齢障がい者、重度行動障がい者は、介護施設や障がい者重度専門施設への移行をすすめ、個々の利用者に適した生活環境への橋渡し役となる。
- ・ 入所・生活介護事業とも明確な利用稼働人数目標を設定し、良質なサービスの根幹である安定経営と健全経営をめざす。

- ・ 以下の6項目の目標達成に向けた活動を実施する

（1）人材育成と職場定着

- ◆ 職員の世代交代を踏まえ次世代リーダーへの投資（Webセミナー・研修参加）
- ◆ 上席による希望職員の面談や身上報告書等を活用し、労務管理、メンタル・ストレスマネジメントや労働環境（有給取得・残業減）等の改善に取り組み、職員満足度の向上を目指す。

（2）利用者へのサービス提供

- ◆ コロナ禍での利用者の「生き甲斐・楽しみ」を追求した日課やイベント・レクその他、リハビリ・スポーツ活動・個別支援外出の充実によるサービスを提供
- ◆ 高齢化・重度化が進む利用者へ、昨年11月から取り組んでいる口腔ケアを通じて身体の健康を保つことと疾病予防に繋げたサービスを提供する
- ◆ 入所者への相談支援の充実

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

- ◆各種防災や感染症等への対策を強化し、訓練・研修等による利用者及び職員の意識高揚を図り、徹底した安全管理に努める。特に新型コロナウイルス対策については引き続き感染対策を強化する。

(4) 施設・設備整備

- ◆老朽化・安全面での設備の更新・修繕（電子記録ソフト・マイクロバス・車いす移動車両 他）
- ◆開設四半世紀経過の施設建物・設備の保守維持管理の徹底と環境美化の維持

(5) 地域連携・社会貢献

- ◆感染対策実施の上で、養護学校や大学・専門学校からの見学実習を受入れ障がい者福祉教育の一躍を担う
- ◆機関紙・HP等各種電子媒体を活用した情報発信

(6) 経営管理

- ◆稼働目標及び経営数値目標達成の為の数値分析と対策実行するとともに、役職者への各種情報提供等で経営面参画の意識を高める
- ◆鳥取県中部圏域の同業他事業所の情報収集

5. 新規事業

- * 新規事業無し